

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	終末期の造血器悪性腫瘍症例における消耗性変化と予後の関連の検討		
1. 研究の目的と方法	がんにおける予後予測因子（残された寿命を推定するための要素）の検討は、患者さんの生活の質（QOL）向上や治療方針決定の参考となる重要な課題です。これまでに固形がんや他の重篤な疾患において予後予測因子の検討がなされており、様々な因子が発見されてきました。一方で血液のがん全般に共通する予後予測因子は未だに確立したものがありません。本研究では診療録に記載された情報を用いて血液のがんにおける予後予測因子を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院の腫瘍・血液内科で2023年2月1日から2024年9月28日までに診療を受けた、16歳以上の血液のがんの診断がなされた患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢(介入時)、身体所見(浮腫、呼吸困難、食事摂取低下、高カロリー輸液など点滴の要否、せん妄、意識障害、乏尿等)、身体活動のレベル、疾患名、病期(遠隔転移の有無)、治療情報、血液検査結果(総蛋白、アルブミン、肝逸脱酵素、クレアチニン、プレアルブミン、CRP、TSH、FT3、FT4に加え一般臨床において評価される項目)、Palliative Prognosis Score(PaP score)、Palliative Prognostic Index(PPI)	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科	
	氏名	酒寄葉	
(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥		
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 緩和ケア診療部 上田響子		
(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年12月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科 研究責任者/窓口担当者：助教 酒寄 葉（さかより よう）  連絡先：03-3433-1111（内線：3252） 対応時間：平日 9:00 ～ 16:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。